

# 香川県の地震

令和8年（2026年）4月

## 香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	2
香川県の地震表（震度1以上）	・・・	2
震度分布図	・・・	3～4

## 南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果

（令和8年（2026年）5月12日）

・・・ 5

## 地震一口メモ

緊急地震速報について	・・・	6
6月17日に緊急地震速報の訓練を実施します	・・・	6

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

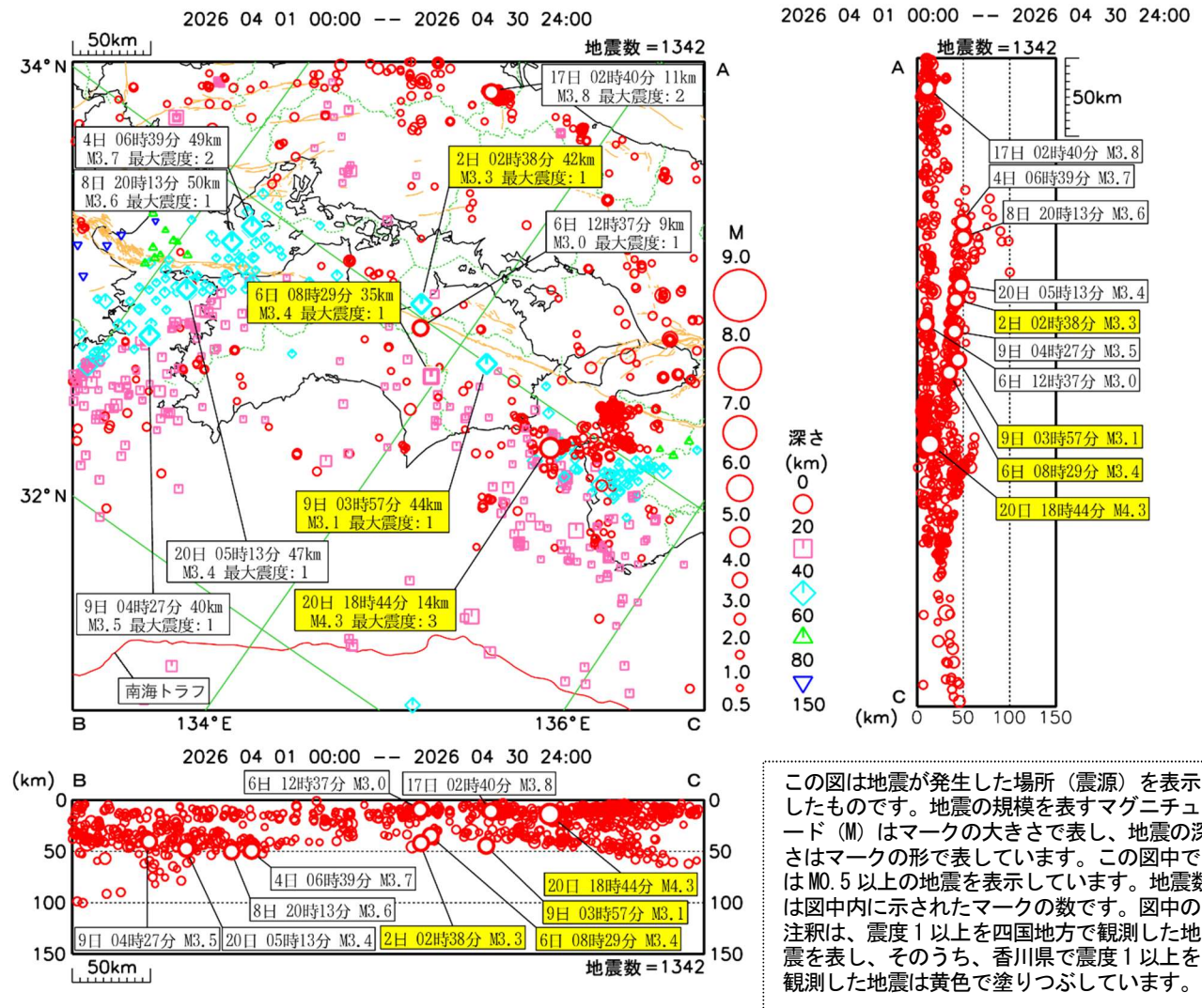
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

# 【香川県の地震活動】

2026年4月

## ◎震央分布図、断面図



〔左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図〕

## ◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の4回でした（前月は2回）。

- 2日02時38分 瀬戸内海中部の地震（深さ42km、M3.3）により、丸亀市・観音寺市・宇多津町・三豊市・綾川町で震度1を観測しました。この地震では、徳島県・岡山県・広島県で震度1を観測しました。
- 6日08時29分 高知県中部の地震（深さ35km、M3.4）により、丸亀市・宇多津町・多度津町で震度1を観測しました。この地震では、徳島県吉野川市・美馬市・つるぎ町・牟岐町・那賀町、高知県東洋町で震度1を観測しました。
- 9日03時57分 徳島県北部の地震（深さ44km、M3.1）により、丸亀市で震度1を観測しました。この地震では、徳島県那賀町で震度1を観測しました。
- 20日18時44分 紀伊水道の地震（深さ14km、M4.3）により、高松市・東かがわ市・土庄町・さぬき市・小豆島町で震度1を観測しました。この地震では、和歌山県御坊市・湯浅町・日高川町で震度3を観測したほか、東海・近畿・中国・四国地方にかけて震度2～1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震（上記の地震を除く）は、次の6回でした。

- 4日06時39分 安芸灘の地震（深さ49km、M3.7）により、山口県周防大島町で震度2を観測したほか、愛媛県・島根県・広島県・山口県・大分県で震度1を観測しました。
- 6日12時37分 徳島県北部の地震（深さ9km、M3.0）により、徳島県三好市、愛媛県四国中央市で震度1を観測しました。
- 8日20時13分 伊予灘の地震（深さ50km、M3.6）により、愛媛県今治市・松山市・久万高原町・宇和島市・八幡浜市・大洲市・内子町で震度1を観測したほか、広島県・山口県・大分県で震度1を観測しました。
- 9日04時27分 豊後水道の地震（深さ40km、M3.5）により、愛媛県宇和島市・八幡浜市・大洲市・西予市・愛南町、高知県宿毛市、大分県津久見市・佐伯市、宮崎県延岡市・高千穂町で震度1を観測しました。
- 17日02時40分 島根県東部の地震（深さ11km、M3.8）により、鳥取県日南町・日野町・南部町、島根県松江市・安来市・雲南市・奥出雲町で震度2を観測したほか、愛媛県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県で震度1を観測しました。
- 20日05時13分 豊後水道の地震（深さ47km、M3.4）により、愛媛県大洲市・西予市、大分県臼杵市で震度1を観測しました。

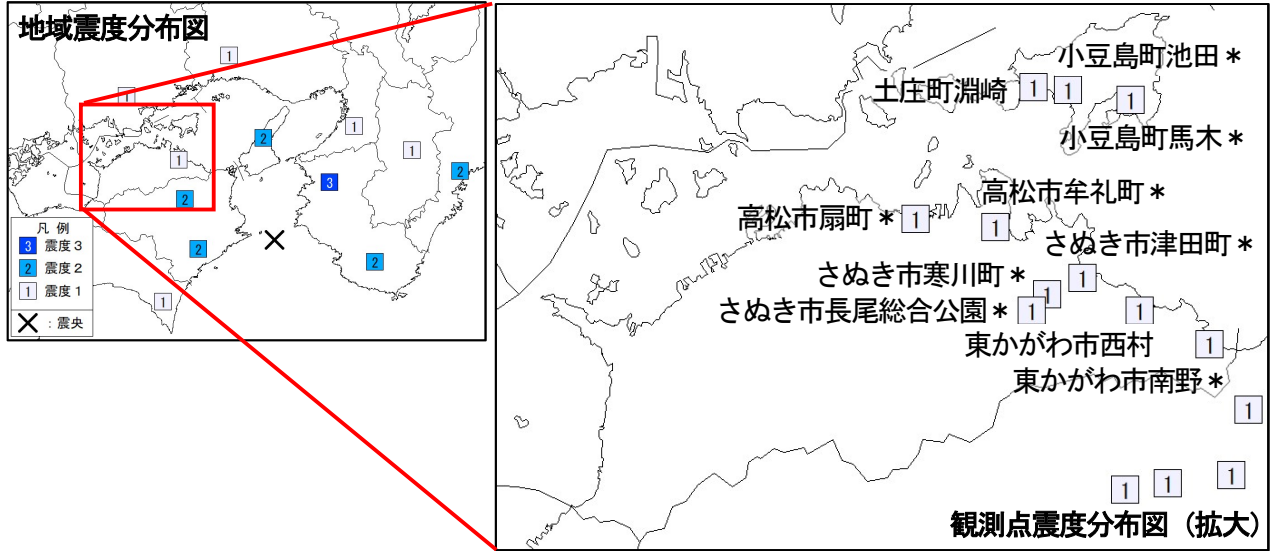
## ◎香川県の地震表（震度1以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2026年04月02日02時38分 香川県 震度1	瀬戸内海中部	34°03.9' N	133°36.9' E	42km	M3.3
丸亀市新田町*、丸亀市綾歌町*、観音寺市坂本町、宇多津町役場* 三豊市財田町*、綾川町山田下*、綾川町滝宮*					
2026年04月06日08時29分 香川県 震度1	高知県中部	33°45.3' N	133°57.4' E	35km	M3.4
丸亀市新田町*、宇多津町役場*、多度津町家中					
2026年04月09日03時57分 香川県 震度1	徳島県北部	33°59.8' N	134°13.3' E	44km	M3.1
丸亀市綾歌町*					
2026年04月20日18時44分 香川県 震度1	紀伊水道	33°48.2' N	134°54.8' E	14km	M4.3
高松市扇町*、高松市牟礼町*、東かがわ市西村、東かがわ市南野*、土庄町淵崎 さぬき市長尾総合公園*、さぬき市寒川町*、さぬき市津田町*、小豆島町馬木* 小豆島町池田*					

\*は気象庁以外の震度観測点



2026年04月20日18時44分 紀伊水道の地震



\*は気象庁以外の震度観測点

# 【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

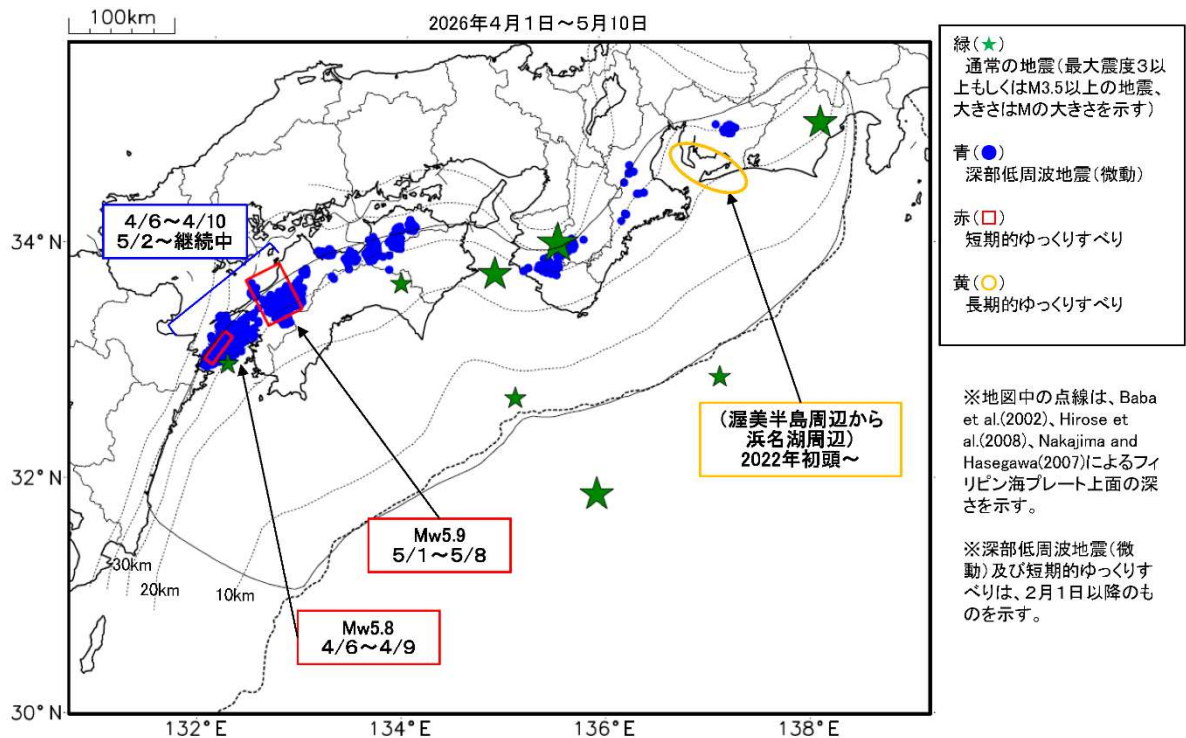
令和8年(2026年)5月12日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

## 【調査結果 (概要)】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率は高い(詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版一部改訂)」参照)と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

## 【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。  
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。  
 短期的ゆっくりすべり.....【四国西部(1)】産業技術総合研究所の解析結果を示す。【四国西部(2)】気象庁の解析結果を示す。  
 長期的ゆっくりすべり.....国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

南海トラフ地震関連解説情報について —最近の南海トラフ周辺の地殻活動—

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2605/12a/nt20260512.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteg/>

# 【地震一口メモ】

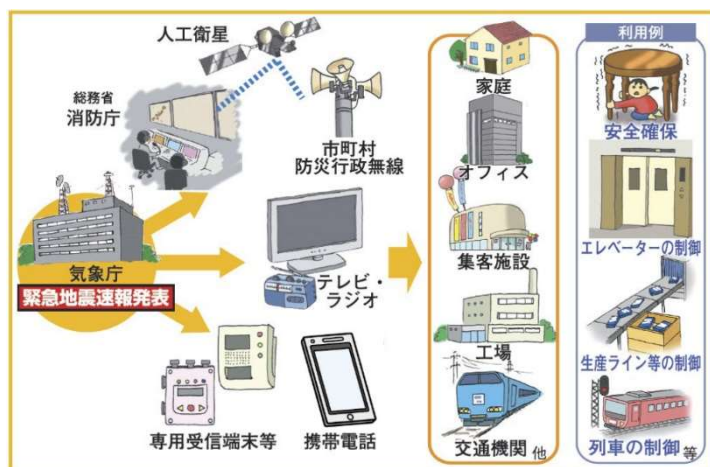
## 緊急地震速報について

緊急地震速報は、地震が発生してから、その揺れを検知、解析を行い、各地での震度や到達時刻などを予想し、可能な限りすばやくお知らせする情報です。

緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度とごくわずかであり、強い揺れが来る前にその到達をお伝えすることで、さまざまな活用がなされています（右図）。

緊急地震速報を見聞きした場合、周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保してください（下図）。

ただし、解析や伝達に一定の時間（数秒程度）がかかるため、内陸の浅い場所で地震が発生した場合などにおいて、震源に近い場所への緊急地震速報の提供が、強い揺れの到達に原理的に間に合わないことに注意が必要です。



## 6月17日に緊急地震速報の訓練を実施します

緊急地震速報は、見聞きしてから強い揺れが到達するまでの時間がごくわずかであり、その短い間に、あわてずに身を守るなどの防災対応をとるためには、日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してみましょう。

### 訓練実施日時

令和8年6月17日（水）10時00分頃（気象庁から訓練用の緊急地震速報を配信する時刻）

注）気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急きょ中止する場合がありますので、御了承ください。中止を決定した場合には、速やかに気象庁ホームページ等でお知らせします。

### 訓練に参加されるみなさまへのお知らせ

本訓練で用いる訓練用の緊急地震速報は、テレビやラジオ等の放送波、携帯電話（スマートフォンを含む。）による一斉同報機能（緊急速報メール／エリアメール）では報知されませんが、住民参加型訓練を実施する市町においては、防災行政無線等による訓練用の緊急地震速報の配信や、登録制メールによる訓練用の避難指示等を配信します。具体的な訓練の内容は、各市町によって異なりますので、各市町に確認のうえ、可能な範囲でご参加ください。

なお、訓練の際には、適切な行動をとることができたか確認するための、気象庁作成のチェックシート (<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/checksheet.pdf>) をご活用ください。

**緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。**



頭を守って、安全な場所に避難！



危ない場所から離れて！



お店では、あわてず係員の指示に従って！